



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL <https://www.taxan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	84,130	△23.2	1,656	△10.5	1,533	△25.0	8,643	540.0
2020年3月期第1四半期	109,564	97.4	1,850	24.2	2,045	21.8	1,350	17.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 9,192百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 442百万円 (△63.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	314.77	—
2020年3月期第1四半期	49.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	214,097	94,344	40.3
2020年3月期	207,638	86,250	37.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 86,385百万円 2020年3月期 78,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 特別配当10円00銭

配当予想の修正については、本日(2020年8月6日)公表しました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△9.8	5,000	△50.1	4,500	△55.6	10,000	70.9	364.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(2020年8月6日)公表しました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 2社 株式会社エクセル、先進顯示科技（香港）有限公司

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	28,702,118株	2020年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,243,334株	2020年3月期	1,243,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	27,458,812株	2020年3月期1Q	27,447,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述などについてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大にともなう各国のロックダウンなどの対策により消費が冷え込み、製造業においては一部工場が稼働停止を余儀なくされたことなどによる影響に加えて、当社連結子会社の富士通エレクトロニクス株式会社(以下、「富士通エレクトロニクス」)における大口販売代理店契約の解消などもあり前年同四半期を下回り、841億30百万円(前年同四半期比23.2%減)となりました。

利益面では、業務効率化を推進し販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、売上高の減少にともなう売上総利益の減少を補うには至らず、営業利益は16億56百万円(前年同四半期比10.5%減)、経常利益は15億33百万円(前年同四半期比25.0%減)と前年同四半期を下回りました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は株式会社エクセル(以下、「エクセル」)を2020年4月に買収したことにもなう「負ののれん発生益」を特別利益として計上したことにより、前年同四半期を大きく上回る86億43百万円(前年同四半期比540.0%増)となりました。

	前第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	増減	
			百万円	
売上高	109,564	84,130	△25,434	△23.2%
売上総利益 (利益率)	11,062 10.1%	9,997 11.9%	△1,064 1.8pt	△9.6% -
販売費及び一般管理費	9,212	8,341	△870	△9.4%
営業利益	1,850	1,656	△194	△10.5%
経常利益	2,045	1,533	△512	△25.0%
税金等調整前四半期純利益	1,799	9,110	7,311	406.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,350	8,643	7,292	540.0%
為替レート(期中平均) USドル	109円90銭	107円62銭	△2円28銭	-

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業(半導体、一般電子部品、EMS(注)などの開発・製造・販売など)

当事業では、EMSビジネスは医療向けが順調に推移したものの、COVID-19拡大にともなう各国のロックダウンなどにより自社および顧客の一部海外工場の操業休止や生産調整の影響を受け、車載向けや空調向けが低調に推移しました。また部品販売ビジネスは、富士通エレクトロニクスにおいて昨年10月に仕入先の米国Cypress社から販売代理店契約を解消された影響などを受け、減収となりました。

これらの結果、売上高は681億96百万円(前年同四半期比27.9%減)、セグメント利益は11億85百万円(前年同四半期比26.9%減)となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

②情報機器事業(パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など)

当事業では、住宅向け家電販売ビジネスは、販売先の納期調整の影響などにより減少しましたが、COVID-19拡大にともなうリモートワークやオンライン授業の増加によりパソコンおよびPC周辺機器の販売が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は125億37百万円(前年同四半期比23.8%増)となり、セグメント利益は5億83百万円(前年同四半期比208.8%増)となりました。

③ソフトウェア事業(CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

当事業では、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などにおいて、顧客からの前倒し発注などにより増収となりました。

これらの結果、売上高は4億91百万円(前年同四半期比12.4%増)、セグメント損失は44百万円(前年同四半期は61百万円の損失)となりました。

④その他事業(エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など)

当事業では、パソコンおよびPC周辺機器のリサイクルビジネスは堅調に推移しましたが、アミューズメント業界向けゲーム機器やゴルフ用品販売はCOVID-19拡大による店舗休業の影響を受け、低調に推移しました。

これらの結果、売上高は29億4百万円(前年同四半期比34.2%減)となり、セグメント損失は1億1百万円(前年同四半期は72百万円の利益)となりました。

〈セグメント別業績の状況〉

		前第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	94,587	68,196	△26,391	△27.9%
	セグメント利益	1,621	1,185	△435	△26.9%
情報機器事業	売上高	10,126	12,537	2,411	23.8%
	セグメント利益	188	583	394	208.8%
ソフトウェア事業	売上高	437	491	54	12.4%
	セグメント利益	△61	△44	17	—
その他事業	売上高	4,412	2,904	△1,508	△34.2%
	セグメント利益	72	△101	△174	—
合計	売上高	109,564	84,130	△25,434	△23.2%
	セグメント利益	1,850	1,656	△194	△10.5%

(注)「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,140億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億59百万円の増加となりました。

流動資産は1,781億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億33百万円の増加となりました。これは主に、売上が減少したことにもない受取手形及び売掛金が88億31百万円減少し、商品及び製品が146億99百万円増加したことによるものであります。

固定資産は359億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億25百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が9億92百万円、繰延税金資産が8億24百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は1,197億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億35百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が83億35百万円、未払法人税等が10億72百万円それぞれ減少し、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は943億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億94百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益86億43百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①2021年3月期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2020年5月21日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	400,000	5,000	4,500	10,000	364.18
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	443,615	10,014	10,137	5,852	213.21

②業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月21日に発表した「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、COVID-19拡大による事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測などに基づき連結業績予想を算定しました。

2021年3月期は、国内外ではCOVID-19拡大の勢いは依然として衰えず、今後も当社グループの事業活動に様々な影響を与えることが予想されます。情報機器事業では引き続きリモートワークやオンライン授業の拡大にともなってパソコンやタブレット端末などIT関連の需要増加が見込まれますが、当社グループの中核事業である電子部品事業では、車載関連や産業機器市場などでの需要減少は避けられない状況です。加えて、当社グループ会社である富士通エレクトロニクスにおける大口商権解消などの影響もあり、売上高は前期を下回る見込みです。グループをあげて業務の効率化を推進し販売費及び一般管理費の削減に努めますが、売上高の減少にともない営業利益および経常利益は前期を下回る見込みです。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本年4月に実施しましたエクセル買収にともなう「負ののれん発生益」を特別利益として計上することから前期を上回る見込みです。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,384	36,404
受取手形及び売掛金	85,495	76,663
電子記録債権	5,876	7,927
有価証券	254	268
商品及び製品	25,276	39,976
仕掛品	567	1,231
原材料及び貯蔵品	6,063	6,609
その他	7,601	9,340
貸倒引当金	△188	△257
流動資産合計	174,331	178,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,365	7,548
機械装置及び運搬具(純額)	4,477	4,884
工具、器具及び備品(純額)	1,060	1,056
土地	4,924	4,924
建設仮勘定	145	79
有形固定資産合計	17,974	18,494
無形固定資産		
のれん	322	294
ソフトウェア	1,743	1,938
その他	190	93
無形固定資産合計	2,256	2,326
投資その他の資産		
投資有価証券	8,502	9,494
繰延税金資産	1,584	2,408
差入保証金	857	911
保険積立金	894	967
その他	1,791	1,904
貸倒引当金	△552	△574
投資その他の資産合計	13,075	15,112
固定資産合計	33,306	35,932
資産合計	207,638	214,097

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,188	61,852
短期借入金	6,540	15,081
未払費用	5,739	3,966
未払法人税等	1,884	812
役員賞与引当金	101	14
その他	9,201	10,019
流動負債合計	93,655	91,746
固定負債		
長期借入金	20,833	20,512
繰延税金負債	1,378	1,567
役員退職慰労引当金	95	96
退職給付に係る負債	1,969	2,237
資産除去債務	329	375
その他	3,127	3,217
固定負債合計	27,732	28,006
負債合計	121,388	119,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,878	13,878
利益剰余金	55,091	62,635
自己株式	△2,005	△2,005
株主資本合計	79,097	86,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	534
繰延ヘッジ損益	28	14
為替換算調整勘定	△707	△678
退職給付に係る調整累計額	△133	△126
その他の包括利益累計額合計	△812	△256
非支配株主持分	7,965	7,958
純資産合計	86,250	94,344
負債純資産合計	207,638	214,097

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	109,564	84,130
売上原価	98,501	74,132
売上総利益	11,062	9,997
販売費及び一般管理費	9,212	8,341
営業利益	1,850	1,656
営業外収益		
受取利息	80	29
受取配当金	83	74
為替差益	43	—
受取手数料	85	50
その他	119	142
営業外収益合計	412	296
営業外費用		
支払利息	75	68
持分法による投資損失	88	150
為替差損	—	184
その他	53	15
営業外費用合計	217	419
経常利益	2,045	1,533
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	0	39
負ののれん発生益	—	8,007
事業譲渡益	12	7
その他	—	2
特別利益合計	18	8,057
特別損失		
固定資産除却損	0	12
投資有価証券売却損	13	—
投資有価証券評価損	247	421
その他	4	45
特別損失合計	265	480
税金等調整前四半期純利益	1,799	9,110
法人税、住民税及び事業税	211	292
法人税等調整額	157	177
法人税等合計	368	470
四半期純利益	1,430	8,640
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,350	8,643
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	80	△2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△330	534
繰延ヘッジ損益	△13	△14
為替換算調整勘定	△644	△42
退職給付に係る調整額	12	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	67
その他の包括利益合計	△987	552
四半期包括利益	442	9,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463	9,199
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2020年4月1日付をもって、当社グループの成長戦略の一環として、当社が株式会社エクセルの株式を100%取得し、子会社化しました。これにともない、擘華企業股份有限公司、卓華電子(香港)有限公司、卓英国際貿易(上海)有限公司、EXCEL SINGAPORE PTE LTD.、卓英電子貿易(深圳)有限公司、ADVANCED DISPLAY SOLUTIONS 株式会社、先進顯示科技(香港)有限公司、EXCEL ELECTRONICS TRADING(THAILAND)CO.,LTD.、アルファバスジャパン株式会社が間接所有子会社となりました。

なお、株式会社エクセルおよび先進顯示科技(香港)有限公司は、それぞれその資本金の額が当社の資本金の額の100分の10を超えるため、特定子会社に該当しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大にともなう会計上の見積りについて)

固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りにつきましては、当第1四半期連結会計期間末日現在で入手可能な情報に基づき実施しており、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。COVID-19拡大の影響は当連結会計年度末日まで継続し、来期以降は緩やかに回復すると仮定して見積りを行っておりますが、過去に例を見ないCOVID-19拡大の影響は不確実な部分があるため、事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	94,587	10,126	437	4,412	109,564	—	109,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	754	160	91	965	1,973	△1,973	—
計	95,342	10,286	529	5,378	111,537	△1,973	109,564
セグメント利益又は 損失(△)	1,621	188	△61	72	1,820	30	1,850

(注) 1. セグメント利益の調整額30百万円には、セグメント間取引消去30百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	68,196	12,537	491	2,904	84,130	—	84,130
セグメント間の内部 売上高又は振替高	615	1,072	125	874	2,687	△2,687	—
計	68,811	13,610	617	3,778	86,817	△2,687	84,130
セグメント利益又は 損失(△)	1,185	583	△44	△101	1,622	33	1,656

(注) 1. セグメント利益の調整額33百万円には、セグメント間取引消去33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。